

Tahara

田原市ホームページ <http://www.city.tahara.aichi.jp>

2014
平成26年

2.15

春の訪れを喜び
可憐に咲けり!

目次

「しみんの広場」	2
広報サポーターだより	
「グリーンメッセージ」	
田原市ふるさと大使インタビュー	
今月の渥美半島の花	
地域の話題	
市民活動を応援するページ	
スクールレポート	
学校生活の一コマを紹介	6
たはらシティニュース	7
連載コーナー	8
おしらせ	10
歴史探訪クラブ	12



しみんの広場

CITIZEN'S PLAZA

もくじ

- 広報サポーターだより……………2ページ
- ふるさと大使&今月の渥美半島の花……………3ページ
- 地域の話(白谷の棚田)……………4ページ
- 市民活動を応援するページ……………5ページ



広報サポーターだより

行こうよ!『グリーンメッセージ』

皆さん、こんにちは。広報サポーターの大久保ゆりです。田原市との姉妹都市、設楽町には、田原市が建設した交流拠点施設グリーンメッセージ(田原市ふれあいの館)があります。今回は、この施設についてご紹介します。



●津具高原ペンショングリーンメッセージ (田原市ふれあいの館)



●ロフト付きの部屋



●手作りパンの朝食



●裏庭で雪遊び



広報サポーター
大久保 ゆり
(田原中部校区)

◆田原市広報サポーターの部屋

- 田原市ホームページ
<http://www.city.tahara.aichi.jp/>
- ブログアドレス
<http://kohotahara.dosugoi.net/>
- ツイッターアドレス
<http://twitter.com/#!/KohoTahara>

グリーンメッセージの玄関を開けると、中は木がふんだんに使われており、とてもぬくもりを感じます。入って右手にはみんなが集まれる暖炉があり、暖をとっていると初めて出会う人とも楽しい会話が弾みます。

部屋は、ロフト付き洋室などがあります。ロフトへは、はしごを上っていき寝転んで天窓を仰げば、青空や星空を眺めることができます。子どもたちは、ちよっとした屋根裏部屋気分を体験できるこのロフトが大好きです。

部屋には、時計がついていません。柔らかな日差しを感じ、淹れたてのコーヒーの香りが館内にあふれると朝です。管理人夫妻の焼いてくれるパンのため

にお腹を空かせておきましょう。

裏山では、そりをレンタルして遊んだり、大きな雪だるまを作ったりして楽しめます。田原市では体験できない銀世界で思う存分遊んでください。さらに、ここを拠点にスキー場へ出かけることもできます。

春夏秋冬、いろいろな遊びが楽しめる設楽町。管理人夫妻がいつでも温かく迎えてくれるグリーンメッセージへ、ぜひお出かけください。

▼グリーンメッセージ

☎(0536) 83局2343

FAX(0536) 83局2505

✉info@juns-kitchen.com

HP <http://juns-kitchen.com/>



田原市ふるさと大使 (渥美半島夢大使)

プロボクサー 金子大樹選手が
大みそかの熱戦を振り返る!

田原市ふるさと大使で、WBA
世界スーパーフェザー級8位

の金子大樹選手が、昨年の大みそかに挑んだ世界タイトル戦について、語りました。

試合を終えて

今回の試合は、自分に与えられた試練だったと思います。負けから学ぶということをもっと知りました。会場やテレビの前で応援していただいた市民の皆さんに感謝しています。

今後の目標

今年もできることを確実に積み重ねていきます。試合に負け、自分に何が足りないのかが分かったし、自分をもっと強くなれるんだと確信も得ました。これまでと違う練習も取り入れ、世界チャンピオンを目指して励んでいきますので、皆さん、これからも応援をお願いします。

負けから学び、自分をもっと強くなれると確信できた



●王者を果敢に攻める金子選手 / この試合はJBC年間最高試合に選ばれた

田原市の子どもたちへ

目標や夢を持っている皆さん。成功した自分をイメージしましょう。絶対、あきらめないこと。大きな夢をいきなりかなえることは難しいけど、その夢の実現に向けて、成功した自分をイメージしながら、少しずつ今できることを積み重ねていってください。



3月

今月の渥美半島の花～ガーベラ～

ガーベラ (切花 / 出荷時期: 通年)

【花言葉】…神秘、崇高美、希望

キク科の多年草で南アジア原産の花です。長い茎の先に大きく明るい色の花をつけるガーベラは、花持ちもよく、フラワーアレンジメントにもよく使われます。花色は、赤、ピンク、黄色、オレンジ、白、紫など豊富で、花形も一重咲き、半八重咲き、八重咲き、スパイダー咲きなどバラエティーに富んでいます。ガーベラという名前は発見者であるドイツの自然学者Gerberaの名前に由来します。

かつては花壇にも利用されることもありましたが、現在では鉢植え・切り花の需要が高くなっています。

田原市では、約560万本が生産されており、県内1位の生産量を誇っています。





▲棚田まもる会の会員



▲棚田まもる会では、白谷地区の棚田14枚を耕作している

地域の話題

白谷の棚田

地域の資源『棚田』を守り継ぐ

童浦校区白谷区の有志で結成した『棚田まもる会』。地域に残る貴重な棚田を守ろうと、世代を超えて行っている活動についてお便りが届きました。



『棚田まもる会』の活動の始まりは、平成23年秋でした。この会は『白谷祝詞保存会』の会員が中心となつてできたものです。保存会の中で、もっと地域を面白く元気にできないかと、話し合っていた折、白谷地区でたった一人最後まで、棚田を耕作して来た方が亡くなりました。残念なことに、後を続けられる人がいませんでした。

棚田消滅の危機に立ち上がる

いくら耕地の少ない地区とはいえ、不便な上に労力のかかり過ぎる小さな棚田など、今ではすっかり見向きもされなくなり、ほとんど荒れてしまいました。棚田は二度荒れると元へ戻るのが絶望的となります。

白谷地区で最後の棚田が消えるかもしれないこの時、多くの仲間が、危

惧を抱き、それなら、我々の有志でこれをお借りして、耕作しようということになりました。

こうなると、高齢者の経験とノウハウが心強いものです。高齢者の指導や助言を受けながら、若い人も皆自発的に動き出しました。楽しみながら年間作業をこなし、実りの秋には予想以上の収量を得て充足感に浸りました。何をやるにも老若の会員がわいわいと楽しくやることで、誰もが納得する結果となつていきます。

棚田を中心に進む地域づくり

ひとつできればその次へと、夢は膨らむ一方です。棚田の周りには、景観を考へて彼岸花やカキツバタなどを植え、藤棚も整備中です。さらに、棚田の入口では、信楽焼の狸がひょうき

んな顔で迎えてくれます。その脇には掲示板があり、誰もが自由に俳句や川柳など書き込んで、お互いの感性を磨く場ともなっています。

世代を超えて棚田を守り継ぐ

幅広い年齢層の会ですが、この活動を通して会員同士の信頼関係や絆が二層深まり、活動にも積極的になってきました。今後、力を合わせて、この棚田を大切に守り継いでいきます。



●夕日に映える棚田

棚田まもる会

- 【会長】藤城忠信
- 【会員数】30名
- 【作付面積】約17アール(二反七畝)
- 【棚田枚数】14枚



市民活動を応援するページ



イベント紹介

第11回あつみNPOの集い

～夢に向かって一歩また一歩。それが人生のパレード！！～

日時：3月16日(日) 10:00～16:00 (入場無料)

場所：渥美文化会館 多目的ホールほか

内容：【10:00～16:00】

◆市民活動団体の活動紹介、パネル展示、バザー、ステージ発表など

【13:00～15:00】

◆オープニング 手話サークルとまと「手から響きあうハーモニー!」

◆基調講演「夢を実現するために!～ディズニーが教えてくれたこと～」

講師 加賀屋克美氏 (有限会社加賀屋感動ストアマネージメント代表取締役)

【15:00～16:00】

◆手作りお菓子でみんなのティータイム

主催：あつみNPOネットワーク (共同開催・田原市社会福祉協議会)



多くの市民や団体がお互いに助け合い、その活動をより活発に行うことができるように、そして田原市が楽しく魅力ある住みよい地域になることを願って、私たちは活動を行っています。ボランティアやNPO活動をする仲間が繋がると、さらに新しい活力が生まれます。皆さんと一緒に楽しい一日を過ごしましょう!

お問い合わせ

北原 ☎ 090-9226-1977 / 森下 ☎ FAX 32局 3963

支援制度情報

市民協働まちづくり事業補助金をご活用ください

地域づくり、清掃活動、福祉活動など、公共性の高い活動を行う市民活動団体を支援する補助金です。あなたの自由で創意工夫あふれる市民活動をさらに活発にするため、みんなで一緒にまちづくりを進めるため、補助金をぜひご活用ください。

対象事業

- 市内で実施、また市民に対して実施される事業で、公共性・公益性の高い活動
- 平成27年2月末日までに完了するもの

対象団体

市内で公益活動を行う5人以上で構成された団体

事業区分



事業費	補助額	募集期間	選考方法
事業費 10万円以上 のもの	事業費の2分の1 (上限20万円)	3月3日(日)～4月18日(金)	書類審査 公開審査会(4月下旬ごろ) ※予算の範囲内で審査結果順
事業費 10万円未満 のもの	事業費の2分の1 (5万円未満)	3月3日(日)～平成27年1月30日(金) ※随時募集	書類審査 ※予算の範囲内で先着順

申請方法

市民協働課で配布する申請用紙に必要事項を記入して直接または郵送にて提出

(申請用紙は市ホームページからもダウンロード可: <http://www.city.tahara.aichi.jp/>)

※平成26年度予算が確定する3月定例会までは、仮受付とします。

※補助金の応募方法、申請書の書き方に関するご相談は、市民活動支援センターで随時受け付けています。お気軽にご相談ください。

《平成25年度事業報告会》一公開一

今年度の補助金採択団体が、それぞれの活動報告を行います。補助申請の参考にもなりますので、ぜひお越しください。※申し込み不要/入退場自由

●日時：3月20日(日) 午後7時～ ●場所：田原文化会館 201・202 会議室

田原市民活動支援センター

<http://www.city.tahara.aichi.jp/kyoudou/>

☎ 22局 1111 (内線812) ※開設時間のみ

FAX 23局 0180 ✉ shiminkatsudo@city.tahara.aichi.jp

メールマガジン始めました!

センターから市民活動に関する新鮮な情報を随時、お届けします。配信ご希望の方は、メール本文に「メール配信希望」とご記入の上、センターへメール送信ください。



スクールレポート

SCHOOL REPORT 65

学校生活の
一コマを紹介

今回は、小学校での「笠山だでのんまつり」と「道徳教育の推進」の様子をご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局 3679

童浦小学校「笠山だでのんまつり」

地域でふるさとを愛する子どもを育てる

童浦小学校では笠山公園を会場に「笠山だでのんまつり」が開催されました。このまつりは校区コミュニティ協議会を中心に、老人クラブ、消防団、PTA委員の皆さんが一つになって企画・運営をしています。

子どもたちは笠山に登り、校区を見渡したり、周辺の自然に触れたりするのはもちろんのこと、いくつかのイベントにも参加しました。その一つが「だでのんギネス」です。「大声大会」「紙飛行機飛ばし」「こま回し」「お手玉」などの種目があり、それぞれ声の大きさ、距離、時間、回数の記録に挑戦しました。そのほかに6年生が野点^{のだて}も行いました。6年生はこの日のためにお茶の作法を学び、練習をしてきており、当日は緊張しながらも、地域の方へお礼の気持ちを込めて抹茶を振る舞いました。

人とのふれあいがふるさとを愛する心を育て、子どもたちは礼儀や感謝の心も学びながら健やかに育っています。「笠山だでのんまつり」は、地域で子どもを育てる大事な機会の一つとなっています。



●紙飛行機をなるべく遠くに飛ばします



●野点ではお手前を披露しました



●親子で海岸清掃を行いました



●道徳の授業で積極的に手をあげる子どもたち

赤羽根小学校「道徳教育の推進」

心を育てる活動

本年度、本校は愛知県道徳教育推進校として、道徳の授業や心を育てる行事を積極的に行ってきました。

道徳の授業では、子どもたちが登場人物の行動や考え方について考え、意見を述べ合い、自分自身を振り返ることで道徳心を高めてきました。また、行事では、全校給食や芋掘り、仲良し集会など、1年生から6年生までの縦割り班による活動を積極的に行い、高学年が低学年を思いやり、子ども同士が互いに助け合ったりする場面を多く設けました。さらに、「思いやり」をテーマとした講演会、親子で取り組む海岸清掃、保護者ボランティアの方による読み聞かせなど、地域や保護者の皆さんとともに子どもたちの心を育てる活動を行ってきました。

昨年10月29日の道徳授業公開・研究報告会では、子どもたちの元気で和やかな様子は、県内からの来校者にとっても好評でした。今後も穏やかな赤羽根の地域・保護者の方々とながら、心豊かな子どもたちの育成に努めていきます。

1月11日 土
市民の安心安全は
団結心で守る！

田原市消防出初式がはなのき広場で開催され、消防本部、消防署、消防団あわせて約700名が参加しました。式では、分列行進や漆田保育園幼年消防クラブの子どもたちによる特別演技が行われたほか、消防職員による階梯操作が披露されました。



▲榊原源一団長を先頭に堂々と分列行進を行う消防団員

1月17日 金
大規模災害に備え
実践的訓練を実施

大規模災害を想定した**合同防災訓練**が中央公園で行われました。訓練には消防署、陸上自衛隊、田原警察署から約80名が参加。防災関係機関がお互いに連携し、迅速かつ的確に救助・救出が行えるよう、公助に主眼を置いた実践的な訓練が展開されました。



▲車両に閉じ込められた負傷者を救出する訓練を行う自衛隊員

1月20日 月
いじめについて
みんなで考える

泉小学校5年生を対象に**人権擁護委員による人権教室**が開催され、いじめについていろいろな立場に立って考え、意見を出し合いました。SOSミニレターという人権擁護委員に相談できる手紙の実例が朗読されると、子どもたちは真剣に聞き入っていました。



▲相手の気持ちになって声を掛け合う児童たち

広がる未来へ

たはらエコ・ガーデンシティ構想



2月は省エネルギー月間です

私たちの生活に恩恵をもたらすエネルギー。一方で、そのエネルギーを作るための化石燃料の使用が地球温暖化を招き、生物の営みに大きな影響をもたらしています。今、求められているのは環境に配慮したライフスタイルの確立であり、省エネ家電製品の利用もその一つです。

そこで今回は家電製品の上手な選び方のポイントを紹介します。

◆冷蔵庫で省エネ

ライフスタイルや家族の人数に合わせ、大きさ、機能を選ぶことが省エネにつながります。

◆照明器具で省エネ

お部屋の広さに合った明るさを確認して、効率のよい照明器具を使いましょう。



◆テレビで省エネ

年間消費電力量や省エネ基準達成率から省エネ性能を確認して、テレビを選びましょう。

◆エアコンで省エネ

ライフスタイルや家族の人数に合わせ、大きさ、機能を選ぶことが省エネにつながります。

◆温水洗浄便座で省エネ

温水を保温する貯湯式、使用時に温める瞬間式など機能を選ぶことで省エネになります。

資源エネルギー庁が発行している「省エネ性能カタログ」



には、エアコンやテレビ、冷蔵庫などの、最新機器の消費効率を比較したリストや上手な選び方、使い方など生活に役立つ情報が掲載されています。

詳細については、エコエネ推進課までお問い合わせください。

●たはらエコチャレンジ宣言登録者数
個人2519人・事業所97カ所(1月末現在)

▼エコエネ推進課

23局7401 FAX 23局0180

HP <http://www.city.tahara.aichi.jp/>

環境戦隊たはらエコレンジャー



大切な家族である犬が迷子になったことがありますか？今回は、飼っている犬が迷子になった時の対処法をお知らせします。



◆動物保護管理センターに連絡

田原市内で迷子になった犬は、愛知県動物保護管理センターに保護されます。迷子になったら早急に動物保護管理センターへ連絡してください。

市役所や警察署に、迷い犬の情報が寄せられている場合もあります。お問い合わせください。



◆首輪や鎖・リードなどは定期的に点検

飼い犬が迷子になったら、飼い主は自ら探しましょう。交通事故にあたり人や他のペットに危害を加えることがあります。

◆鑑札を装着しよう

飼い犬には、登録鑑札・狂犬病予防

注射済票を首輪に装着しましょう。迷子になってしまった時に登録番号から飼い主が特定でき、返還されます。



また、マイクロチップが装着されていれば首輪が外れ鑑札がない場合でも飼い主に連絡できます。

◆ホームページで確認できます

保護された犬は、動物保護管理センターのホームページで確認できます。また、市役所南庁舎玄関横の掲示板にも掲示されます。

なお、保護された犬の返還には手続きが必要です。詳しくは動物保護管理センターまでお問い合わせください。

▼環境衛生課

23局3541 FAX 23局0180

HP <http://www.city.tahara.aichi.jp/>

▼愛知県動物保護管理センター東三河支所

(0532) 33局3777

HP <http://www.pref.aichi.jp/douai/04tousan/hokaku/hokaku.html>

姉妹都市設楽町との「菜の花交流」

◆交流のきっかけ

平成14年12月、上流域から届く「水」への感謝の気持ちを込めて、旧田原町農業委員会が旧津具村（現設楽町）の津具保育園に菜の花を贈りました。これがきっかけとなり、毎年菜の花を通じた交流を行っています。

◆設楽町の保育園児がひと足早い春を満喫！

今回は、設楽町の津具保育園から7名、名倉保育園から15名の園児が田原市にやってきました。

サンテパークたはらに到着した園児たちは、普段間近で見ることのない動物たちとのふれあい体験を行い、記念撮影やえさやりを楽しみました。



続いて、大久保町の本多さんのハウスで「イチゴ狩り」をしました。真っ赤に実ったたくさんのイチゴを見て、園児たちは大喜びで、次々とほお張っていました。

そして、加治町の菜の花畑に移動し、元気に満開の菜の花畑を散策しました。受け入れを行ったNPO法人田原菜の花エコネットワークの皆さんから菜の花と手作りプレゼントが贈られ、園児たちが笑顔で「ありがとう」とお礼を言うと、同団体の皆さんもうれしそうな様子でした。

菜の花と一緒に笑顔が満開になるこの交流が、これからもずっと続いていくといいですね。

▶政策推進課 ☎23局3507

みんなで取り組む防災・減災

けんちゃん

防災知恵袋

「家族で防災会議を開こう」

34

災 害が発生したとき、一人ひとりがどのような行動したらいいか、家族で話し合っていますか。

家族で防災会議を開いて、連絡方法や避難方法などを確認しておくこと、災害時に慌てずに対処します。1年に1回はこのような話し合いの機会を持ちましょう。

◆家族で話し合っておきたいこと

●家族の連絡方法
災害用伝言ダイヤル「171」の使い方を確認

①171をダイヤル
②録音または再生を選ぶ
③被災地の方の電話番号を入力する
④メッセージの録音または再生

●避難場所・避難経路

防災マップなどで確認

●非常持出品・備蓄品の点検

- 1年に1回は中身を点検し、古いものは交換
- 地震発生時の役割分担
- 火を消す
 - ガスの元栓を閉める
 - 電気器具のコンセントを抜く
 - ブレーカーを落とす
 - 出入り口を確保する
 - ラジオやテレビで情報確認
-

- 家具転倒防止対策
- 高齢者や乳幼児などの要援護者の安全確保

●自分の身、そして家族の身を守るために、ぜひ一度話し合いの機会を持ちましょう！

▼防災対策課 ☎23局3548
http://www.city.tahara.aichi.jp/

おしらせ				
INFORMATION				

募集

WANTED

田原市博物館企画展監視員

田原市博物館・渥美郷土資料館で
4月12日から5月25日まで開催する
企画展の展示室監視員を募集しま
す。

- ▼募集人員 7名程度（博物館5名程度（郷土資料館）▼対象 健康な方
- ▼勤務内容 展示室監視
- ▼勤務形態 午前9時～午後1時と午後1時～5時の交替勤務
- ▼賃金 時給830円
- ▼選考方法 応募者多数の場合は、書類選考後、面接期日など詳細は後日通知
- ▼申し込み 3月7日（金）までに田原市博物

館にある履歴書に必要事項を記入のうへ開館時間内に提出（郵送不可）

▼田原市博物館
☎22局1720 FAX22局2028

「サンティアーム」および「ふれあい農園」利用者

いずれも1区画20㎡（5m×4m）の広さで、利用期間は4月1日～平成27年3月31日、利用料は年額5000円です。申込者多数の場合は抽選により決定します。

☑サンティアーム

- ▼場所 田原市野田町芦ヶ池地内
- ▼区画数 90区画
- ▼申し込み サンテパルクにある利用許可申請書に必要事項を記入のうへ提出
- ▼受付期間 3月7日（金）まで
- ▼サンテパルクたはら



☑田原市民ふれあい農園

- ▼場所 田原市田原町北荒井地内
- ▼区画数 50区画
- ▼申し込み 農政課または営農支援センターにある利用許可申請書に必要事項を記入のうへ提出
- ▼受付期間 3月7日（金）まで
- ▼営農支援課（田原農業支援センター内）

☎22局1126 FAX22局1127

吉胡貝塚資料館 春の特別体験講座 受講者

☑土器を使って料理を作ろう

- ▼対象 どのような年齢でも（小学校3年生以下は保護者同伴）
- ▼日時 3月30日（日）／午後1時～4時
- ▼内容 スープや魚の包み蒸しなどを調理
- ▼受講料 500円
- ▼定員 20名（先着順）
- ▼申し込み 電話またはEメールにて（Eメールの場合は、講座名・住所・氏名・電話番号を明記）
- ▼その他 4月6日（日）まで、黒・ピンクのミニマが玉作り体験開催（随時）



☎22局8060 FAX22局8070
✉yoshigo@city.tahara.aichi.jp

春のウォーキング参加者

- ▼対象 小学生以上（小学生は保護者同伴）
- ▼日時 3月16日（日）午前8時30分受付開始※小雨決行
- ▼コース 伊良湖岬・恋路ヶ浜周辺約10km
- ▼集合場所 伊良湖海水浴場駐車場
- ▼参加料 1名100円
- ▼申し込み

設楽ダム連続公開講座参加者

第10回とよがわ流域県民セミナーの参加者を募集します。

- ▼日時 3月21日（金・祝）午後1時～4時30分
- ▼場所 愛知大学豊橋キャンパス「記念会館」小講堂
- ▼内容 ガムと地域振興
- ▼受講料 無料
- ▼定員 200名（先着順）
- ▼申し込み 3月19日（水）までに申込書（ホームページからダウンロード可）を愛知県地域振興部土地水資源課まで
- ▼その他 内容および申込方法は愛知県地域振興部土地水資源課ホームページをご覧ください。／当日の様子をユーストリームにより同時配信します。
- ▼愛知県地域振興部土地水資源課

☎(052)954局6122

☎http://www.pref.aichi.jp/0000067863.html

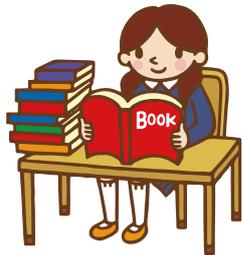
生涯学習情報誌への広告

▼掲載場所＝生涯学習情報誌（平成26年度上半期）の【表紙】2枠および【裏表紙】10枠／発行部数2万500部 ▼広告のサイズおよび掲載料＝【1種広告】縦4.5cm×横8.5cm、表紙1回2万570円／裏表紙1回1万5420円ほか（2種広告および割引制度あり）

▼申し込み＝2月28日（金）までに申込書に必要な事項を記入し、署名・押印したものに広告原稿、会社概要などを添付して直接提出 ▼その他＝申し込みの際には、募集要項などの内容をご確認ください（申込書および募集要項などは、田原市教育委員会ホームページからダウンロード可）

※詳しくはお問い合わせください。

▼生涯学習課
☎23局3531 FAX22局3811
HP <http://www.city.tahara.aichi.jp/section/kyoiku/>



生活

春季全国火災予防運動 3月1日（土）～7日（金）

- これからの季節は寒さも和らぎ、火への注意も緩みがちになります。火災から命や財産を守るために、火の取り扱いには十分注意しましょう。
- 住宅防火7つのポイント
 - 1 寝たばこは、絶対にやめる。
 - 2 ストープは、燃えやすいものから離れた位置で使う。
 - 3 ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。
 - 4 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
 - 5 火災の拡大を防ぐために、寝具や衣類・カーテンなどは、防災製品を使用する。
 - 6 火災を最小限に抑えるため、住宅用火災警報器などを設置する。
 - 7 お年寄りや体の不自由な方を守るために、近所の協力体制を整えておく。
- 平成25年度防火標語
「消すまでは心の警報ONのまま」



▼消防課

☎23局4074 FAX23局0180

オストメイトの集いを開催します

オストメイト（人工肛門・人工膀胱の保有者）とその家族の皆さんを対象に講演などを行います。

東三河地域にはオストメイトが約1000名います。失敗や悩みを乗り越えた体験談なども聞くことができます。ぜひ、ご参加ください。

▼日時＝3月8日（土）午後1時30分
▼場所＝豊橋市総合福祉センター あいトピア（豊橋市前畑町）

▼内容＝【講演1】外科医の立場から（講師：豊橋市民病院 一般外科・肛門外科部長 柴田佳久氏）【講演2】ストーマ周囲のスキンケアについて（豊橋医療センター 皮膚・排泄ケア認定看護師 池戸美奈氏）

▼参加料＝無料
▼健心友の会 東三河支部（つつじの会）
☎（0533）31局7198

こころの健康フェスティバル「ハート・イン・東三河」

地域全体のこころの健康について関心を高めるとともに、精神障害が

ある方への理解を深め、障害がある方同士の交流を目的とし「ハート・イン・東三河」を開催します。

▼日時＝3月15日（土）午前9時30分～午後3時 ▼場所＝豊川市総合体育館（豊川市諏訪三丁目246番地） ▼内容＝スポーツ交流、作品展示、バザー即売、ふれあいコーナー（各種ゲーム）ほか ▼その他＝駐車場に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

▼こころの健康フェスティバル「ハート・イン・東三河」実行委員会
☎（0533）89局2131

寄付

DONATION

次の方々からご寄付をいただきました。ご厚意に感謝します。

▼1月9日、株式会社ココカラファインヘルスケア様から環境保全活動のため、金34万2201円。

＊ふるさと寄附金＊
▼1月8日、重の井伊藤知也様から金7万9893円。

▼1月10日、大野守彦様から金3万円。



歴史探訪

クラブ! 其の155

History Inquiry Club

文化財課 ☎23局3635
FAX 22局3811

渥美半島の魅力

平成23年11月15日号でも紹介した、赤羽根町の「光岩」が愛知県指定天然記念物となりました。田原市では、県の指定は40年ぶりです。また、事前の調査では伊川津町にある「鸚鵡石（平成19年9月号で紹介）」の重要性も指摘されました。光岩は、地層の褶曲（曲がりくねる）により変形によりはがれたチャート岩盤の堆積の境界面で、鏡肌の表面には摩擦痕（あすりあと）があまりみられません。その後の調査の結果、鏡肌の成り立ち



●鈍く輝く光岩

は、面が摩擦により磨かれたものではなく、褶曲が生じてはがれた地層境界面が高熱により溶けて再結晶化したものと考えられています。一方、鸚鵡石は、光岩と同じ

チャート岩盤で、地層断面と直交する断面は断層面とみられ、岩体が斜め上方向にずれてきたものです。この面には斜めに走る摩擦痕と岩盤表面の「ささくれ」が観察できます。同様のチャート岩盤であるに関わらず、光岩は褶曲、鸚鵡石は断層という違う地殻変動を観察できるのです。渥美半島、ひいては日本列島の形成過程に関わる各時期の地殻変動を語るモニュメントとして重要です。

さて、平成25年6月に「東三河ジオパーク」というシンポジウムが、行われました。「ジオパーク」とは「地球科学的に見て重要な特徴、その他の自然遺産や文化遺産を持つ地域が、それらのさまざまな遺産を有機的に結びつけて保全や教育、観光に利用しながら地域の経済発展を目指す公

園」をいいます。ジオパークを東三河にというのがこのシンポジウムの開催目的です。東三河は中央構造線が走っているだけなく、海に面した特徴ある自然環境を持っています。日本には世界ジオパークは5カ所、日本ジオパークは20カ所あります。

田原市においては、ジオパークを構成するジオサイトの候補としては「光岩」「鸚鵡石」はもとより「笠山」「日出の石門」「汐川干潟」「表浜の海食崖」「高松町新井の貝化石」などを代表として、魅力あふれる自然遺産を限りなく上げることができそうです。また、自然遺産だけではなく、渥美半島の特徴的な自然には「縄文時代の貝塚」「製塩遺跡」「渥美窯」などの文化遺産もジオサイトとして重要です。

ジオパークの優れたところは、自然・文化遺産の教育活動、観光活動を通じ、経済発展が進むことにより循環的にこれらの遺産が守られていく、ということです。



●日出の石門

つか東三河がジオパーク認定される日が来るかもしれませんが、そのためには、さまざまな分野の知恵と協力が必要となります。

光岩の県指定によって、自然と歴史一体となった「渥美半島」の魅力について、さまざまな可能性を改めて考えさせられました。

(増山)

※「チャート」二酸化ケイ素が主成分の堆積岩の一種。



●表浜の海食崖

今月の「表紙」

▼ふるさと大使のプロボクサー金子大樹さん。昨年の大みそか、絶対王者を果敢に攻め、10回にはダウンを奪う瞬間、響き渡る大歓声で会場が揺れるほどだったそう。今回、取材をし、常に前向きな彼から折れない強いハートを感じました。「くやし気持ちに負けず、今できることを。自分はまだ強くなれる。」心を打ち抜く言葉でした。(M)

【表紙の写真】市の花「菜の花」(吉胡町)